

事業系廃棄物の収集運搬効率化を目的とした実証実験を行います

～「横浜市資源循環推進プラットフォーム」発の制度変更へ～



横浜市では、公民連携で運営している「横浜市資源循環推進プラットフォーム」において、一般廃棄物収集運搬事業者とともに「事業系廃棄物の収集運搬業務の効率化」をテーマに議論を重ねてまいりました。

その議論を踏まえ、事業系廃棄物の収集運搬の効率化を目的とした『一般廃棄物と産業廃棄物の収集運搬車両の兼用に関する実証実験』を実施します。本実証では、走行距離の削減(CO₂排出量の削減)や、人員配置の最適化(人手不足への対応)といった観点から、その効果を検証します。

なお、本実証実験と並行して、来年4月の本格実施(制度変更による規制緩和)を見据えた検討を進めています。



1 実施の背景

横浜市ではこれまで、一般廃棄物収集運搬業に使用する車両について、「一般廃棄物専用車両(産業廃棄物を積載できない車両)」として運用することを定めてきました。これは、焼却工場への不適正搬入を防止するうえで一定の効果を上げてきた一方で、以下の課題も生じていました。

- 一般廃棄物と産業廃棄物の同時収集ができないことで、走行距離や作業時間が増加する
- 一般廃棄物収集後に車両を乗り換えなければ産業廃棄物を収集できないため、非効率である
- 走行距離や配車台数の増加は、人手不足を招く要因となりうる
- 走行距離が延びることは、CO₂排出量の増加にもつながる

そこで、2050年のカーボンニュートラルも見据え、課題解決に向けた議論を重ねてきました。

2 実証実験の概要

(1)目的

一般廃棄物収集運搬車両を産業廃棄物の収集運搬にも兼用することによる「収集運搬の効率化」「CO₂排出量削減効果」等を検証します。

(2)実施期間

令和7年11月24日(月・祝日)から令和8年3月31日(火)まで

(3)実施内容

- ・横浜市内において、一般廃棄物収集運搬車両を、産業廃棄物の収集運搬にも使用します。
- ・対象車両には「実証実験中」「産業廃棄物収集運搬車両」の表示を行います。

【車両への表示例】

実証実験中

産業廃棄物収集運搬車
○○株式会社(会社名)
第00000号(許可番号)

(4)実施事業者

株式会社春秋商事、武松商事株式会社、横浜環境保全株式会社(五十音順)

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

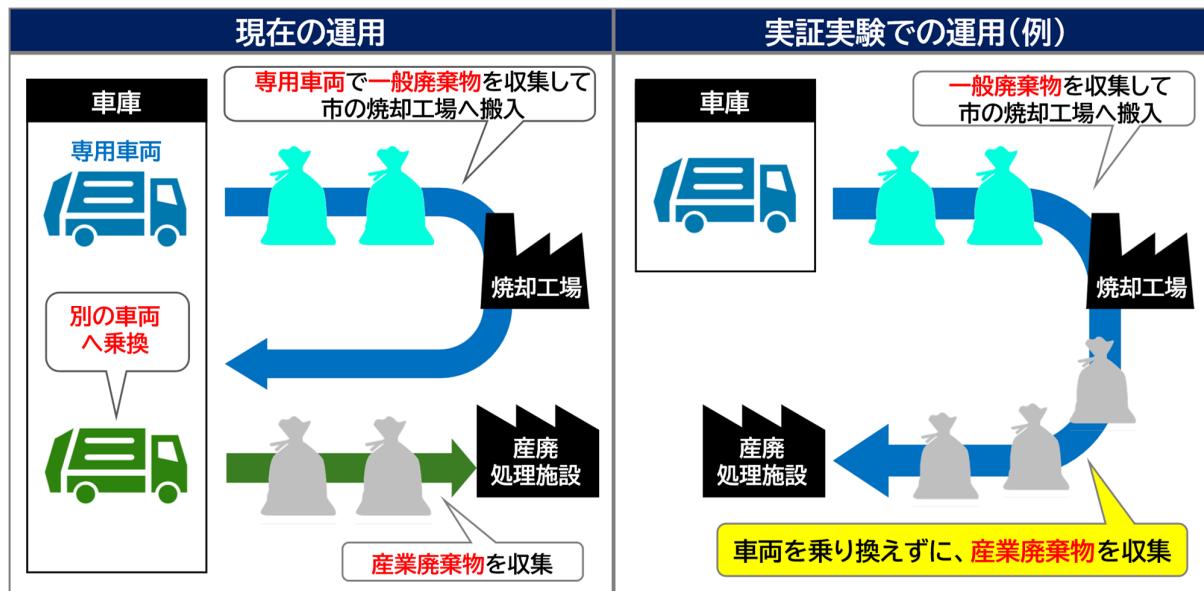
2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



3 今後のスケジュール

令和8年4月からの本格運用開始を目指し、実証実験の実施状況を踏まえながら、具体的な運用方法について検討を進めてまいります。

【参考 1】 運用スキーム



【参考 2】 横浜市資源循環推進プラットフォームについて



令和6年10月に、市内の廃棄物処理業者7社が中心となり発足。このプラットフォームでは、主に市内での動脈産業と静脈産業が連携した取組を促進し、資源循環産業を活性化させることで本市の資源循環施策を推進することを目的としています。

横浜市は、プラットフォーム幹事企業7社との連携協定に基づき運営等を支援し、公民一体での議論を進めています。

令和6年10月18日 記者発表

「市内の廃棄物処理業者が「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を発足！」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shigen/2024/1018YRCplatform.html>



お問合せ先

■実証実験に関すること（横浜市）

資源循環局事業系廃棄物対策課 担当課長 倉田 力 TEL 045-671-2558

■実証実験に関すること（実施事業者）

横浜市資源循環推進プラットフォーム 幹事企業 武松商事株式会社 TEL 045-681-4376

■一般廃棄物収集運搬業に関すること

資源循環局事業系廃棄物対策課 担当課長 田島 穎之 TEL 045-671-2526



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

